

このまちが好き 夢かなうまち 福生

福生の教育



福生市公式キャラクター
たっけー☆☆

—発行 編集—
福生市教育委員会
事務局 庶務課

〒197-8501
福生市本町5番地
042-551-1511

主な記事 ○平成26年度教育費予算 ○「福生市立図書館基本計画」を策定しました ○自宅からインターネットでスポーツ施設の予約ができます

平成25年度 福生市教育委員会表彰



平成25年度の福生市教育委員会表彰の受賞者が決まり、平成26年3月8日、市役所において教育委員会表彰式が行われました。児童及び生徒の表彰（個人14名・団体2団体）、個人及び団体の表彰（個人4名）の方々が受賞されました。受賞者の皆さんを紹介します。

児童及び生徒の表彰（個人14名・団体2団体）

（敬称略・順不同）

| 受賞者の氏名 | 主な功績 |
|----------------------------------|---|
| 福生第三小学校 6年 安田 大朗 | ・明るい選挙ポスターコンクール東京都最優秀賞、全国審査出展 |
| 福生第二小学校 6年 濱 陽和 | ・明るい選挙ポスターコンクール東京都優秀賞、全国審査出展 |
| 福生第五小学校 6年 石田 紅葉 | ・明るい選挙ポスターコンクール東京都優秀賞、全国審査出展 |
| 福生第一小学校 6年 岩浪 浩輝 | ・明るい選挙ポスターコンクール東京都入選、全国審査出展 |
| 武蔵村山市ハンドボールクラブ（福生第七小学校 6年） 菊地 優介 | ・第21回東日本小学生ハンドボール大会 優勝 ・第11回東京都少年少女ハンドボール大会 準優勝 ・平成24年度東京都小学生新人大会 優勝 |
| 福生第一中学校 3年 小池 らん | ・第22回JOCジュニアオリンピックカップ2013ハンドボール大会 第3位 ・第22回関東中学生選抜ハンドボール大会 優勝 |
| ことがわら学園加美平書道教室（福生第二中学校 3年） 菅井 鈴乃 | ・第50回全日本書初め大展示会 公募の部 文部科学大臣賞 ・第29回全国硬筆コンクール 審査委員会賞 ・第37回全国学生書写書道展 席書の部 全書会大賞、公募の部 全書会特別大賞 |
| 香福書道会（都立鷺宮高等学校 1年） 齊藤 愛奈 | ・第29回高円宮杯日本武道館書写書道大展示会 硬筆の部 日本武道館理事長賞 |
| 日本空手道泊親会（福生第二小学校 2年） 長瀬 陽色 | ・第51回全国空手道選手権大会 小学2年男子組手競技 優勝 ・第51回関東地区空手道選手権大会 小学2年男子組手競技 優勝、形競技 敢闘賞 |
| 日本空手道泊親会（福生第六小学校 2年） 上野 真結 | ・第51回関東地区空手道選手権大会 小学2年女子形競技 第3位 ・第51回全国空手道選手権大会 出場 |
| 日本空手道泊親会（福生第六小学校 5年） 中村 遼太郎 | ・第51回関東地区空手道選手権大会 小学5年男子形競技 敢闘賞 ・第51回全国空手道選手権大会 出場 |
| 福生第三中学校 1年 比嘉 勝 | ・第52回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会 男子1年走幅跳 第3位 |
| 福生第一中学校吹奏楽部 | ・第53回東京都中学校吹奏楽コンクール B組金賞 |
| 福生第二中学校吹奏楽部 | ・第53回東京都中学校吹奏楽コンクール A組金賞 |
| 福生第一中学校 3年 佐久間 美生 | ・ジュニアエレクトーンフェスティバル2013グランドファイナル 中学生部門 金賞 |
| 早稲田大学高等学院 3年 小町 俊樹 | ・第44回全国高等学校アメリカンフットボール選手権関東大会 優勝 ・第44回全国高等学校アメリカンフットボール選手権決勝戦（クリスマスボウル） 優勝 |

個人及び団体の表彰（個人4名）

（敬称略・順不同）

| 受賞者の氏名 | 主な功績 |
|--------|---|
| 菅野 武利 | ・ボーイスカウト・ガールスカウト指導者として社会教育活動に貢献 |
| 國分 良子 | ・米軍横田基地にてセタダンサーズを結成し指導され、日本舞踊の普及のみならず、日米親善交流にも貢献 |
| 沖山 裕子 | ・ETOILE ATACAMA2013（南米チリで開催された長距離マラソン大会）8位（女性3位）※アタカマ砂漠の標高3千~4千mの高地を8日間で約230km走る長距離マラソン大会 |
| 黒川 祥子 | ・著書「壁になった少女 虐待—子どもたちのその後」が第11回開高健ノンフィクション賞を受賞 ※受賞作は「誕生日を知らない女の子 虐待—その後の子どもたち」に改題 |

福生市教育センターの組織を改編しました

—専門職（任期付職員）を配置し、機能強化を図ります—

福生市教育センターは、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を目的として「教育相談室」と「学校適応支援室（そよかせ教室）」、教職員の人材育成及び資質と能力の向上を目的として「教職員研究・研修所」の3つの機能を有しています。

4月1日から、教育センター担当として専門職（特定任期付職員）を配置し、教育相談室長、学校適応支援室長及び教職員研究・研修所の所長として専門的な知識や経験を生かし、学校や子どもに関わる関係機関と連携し、より一層問題の解決に努めます。学校、家庭、子育て等のお悩みは、遠慮なくご相談ください。

教育センターの主な役割

- 1 教育相談室**
「教育（就学）支援」「児童・生徒支援」「家庭生活支援」のチームにより、臨床心理士等専門家が対応します。発達のアンバランスや学校生活・家庭生活の不安や悩み等、支援が必要な子どもに対し、家庭、学校・保育園・幼稚園、関連機関と連携した適切な個別の支援を行います。
- 2 学校適応支援室（そよかせ教室）**
様々な理由から学校に通うことができなくなっている児童・生徒に対し、子どもの状況に応じた適切な指導をする教室です。
- 3 教職員研究・研修所**
各学校において学校管理職経験者による教員の人材育成を中心に指導、支援の充実を図ります。

問合せ 福生市子ども応援館内 福生市教育センター・教育相談室 ☎551・7700

平成29年度から 中学校給食を実施

現在、福生市では平常時は学校給食センターとして活用する災害時対応施設の建設規模や設備、また事業費などの基本計画を策定しています。

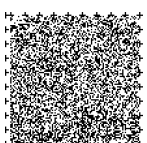
また、これまで市民の皆さんや市議会等から要望が多かった中学校給食の実施の有無についても検討してきました。

その結果、建設予定地の用途が立ったことや食育の重要性が更に高まっていること、共働きの世帯の増加などで子育て支援の充実がより求められることなどから、災害時対応施設の開設に合わせて、中学校給食を実施することを、基本計画に盛り込むこととしました。

今後、配膳方法や中学校の施設整備など解決すべき課題はありますが、平成29年度からの実施に向け、更に検討を進めていきます。

問合せ 学校給食課 給食第一係 ☎551・1344

二次元シンボルSPコードは専用読取装置で文字情報を音声で聞くことができます。



平成 26 年度教育推進プランからの主な取組を紹介します

子どもたちの「生きる力」の育成

1 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

・3名の臨床心理士資格を有する相談員を配置し、就学相談・教育相談の充実を図ります。(予算額8,640千円)

2 確かな学力の定着

・児童・生徒の基礎学力の定着、不登校、健全育成等の課題の解決のため、子どもに関係する機関が連携し、審議し改

善策を提案する「ふっさっ子未来会議」を開催します。(予算額390千円)

・福生第五小学校が東京都から「言語能力向上推進校」の指定を受け、活字に親しむ学校づくりを通して言語能力の向上を図ります。(予算額599千円)

3 社会的自立や国際性を備えた人間育成

・日本の伝統や文化を理解し、継承・発展できるような日本の伝統・文化理解教育を推進します。(予算額270千円)

信頼される学校づくりの推進

1 地域に根付いた開かれた学校づくりの推進

・地域の学校への期待、要望等の把握や地域との連携を深めるため、学校評議員の意見交換の充実及び活動の活性化を図ります。

2 教職員の資質・能力の向上

・校長、副校長及び主幹教諭、教員研修等を実施します。

3 教育環境の整備・充実

・第七小学校の校庭で、表土の補充と排水設備整備、校庭の一部を芝生化します。(予算額28,128千円)

・第三小学校で、校内給水管の更新と、飲料水を水道管から直接給水を受ける方式に変えます。(予算額19,928千円)

・第三小学校で、老朽化した便所の改良を行います。(予算額45,564千円)

生涯学習社会の推進

1 あらゆる機会・場所で自ら学び、社会参加と健康づくりができる環境の整備・充実

・老朽化したわかたけ会館の内外装、屋上防水、空調設備の改修及びバリアフリー化、地球温暖化対応等に配慮した施設改良を行うとともに、図書室を増築して利用者の利便性の向上を図ります。(予算額194,409千円)

・公民館調理室の調理台5台を障害者対応型に入れ替え、改良工事を行います。(予算額4,918千円)

・多様な学習の充実を図るため公民館事業等の充実を図ります。新たに国際理解や多文化共生につながる講座等を実施

します。(予算額6,992千円)

・新都市連絡協議会の3市(福生市・守山市・登別市)の子どもたちが、将来にわたって協力してまちづくりを推進しようとする心情を育てることを目的とし、スポーツの交流大会を実施します。(予算額313千円)

・古民家保存事業として、明治期建造の貴重な住宅である旧田村家住宅を保存及び活用するため、取得し保全を行います。(予算額225,114千円)

2 連携・協力のコーディネーターの育成

・「学び・体験・交流」の場である「ふっさっ子の広場事業」のサポーターの拡充とイベントを充実します。

2 学社連携・融合の促進

・学校司書と連携し、学校図書館の改造計画策定や学校図書館の充実を支援します。

3 家庭の教育力の向上

・「スクールソーシャルワーカー」、「アドバイザースタッフ」等からなる学校サポートチーム指導員を配置し、不登校や問題行動等の学校への不応状態にある児童・生徒に対する支援を総合的・専門的に行います。(予算額4,689千円)

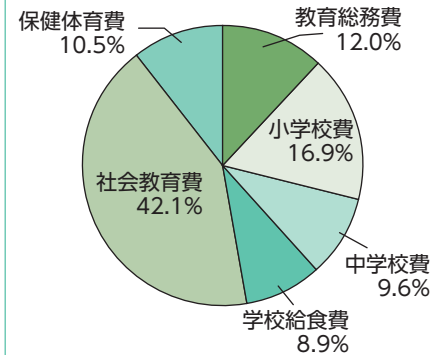
地域の教育力の向上

1 学校・家庭・地域が連携し、子どもの成長をはぐくむ仕組みづくり

・保健センターで開催される「すくすくベビークラス おすわりの頃(6ヶ月～1歳)」の乳児を対象としたおはなし会を通して読書の大切さをPRします。

平成 26 年度教育費予算の内訳 (25 億 8,318 万 1 千円)

平成 26 年度福生市一般会計予算 220 億 9,000 万円が3月の市議会定例会で可決されました。そのうち教育費は11.7%の25億8,318万1千円の予算額となりました。



◆教育総務費 3億886万9千円
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費

◆小学校費 4億3,791万5千円
学校の運営、学校施設の整備に要する経費

◆中学校費 2億4,881万6千円
学校の運営、学校施設の整備、ランチルームの運営に要する経費

◆学校給食費 2億2,938万3千円
小学校給食の調理及び設備に要する経費

◆社会教育費 10億8,725万2千円
公民館、市民会館、図書館、プチャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費

◆保健体育費 2億7,094万6千円
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

平成26年度福生市教育委員会の基本的な考え方

平成26年第1回市議会定例会において、平野教育委員長が教育委員会が取り組む施策について基本的な考えを述べました。要旨は次のとおりです。

平成26年度の学校教育における教育課程編成の基本的考え方として、「確かな学力の定着」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」という「知」「徳」「体」の調和のとれた育成を目指し、また、新学習指導要領の確実な実施と特別支援教育から個別支援教育への視点を重視した相談の充実、就学前教育と小・中一貫教育化への発展、学校支援地域組織を活用した地域との連携の推進などによる学校づくりに取り組みます。

福生市教育振興基本計画の基本方針1の「子どもたちの『生きる力』の育成」の観点からは、児童・生徒の対応や個別の教育支援では問題の解決に向けた取組を強化し、学校内におけるサポート委員会をより活性化させます。

教育センターでは、就学サポート、心理相談、家庭生活支援を組織化し、専門家を配置し、幼稚園、保育園の巡回訪問を増やして、保護者、保育士、幼稚園教諭の相談対応にあたり、発達のアパランスの早期発見、保護者理解、個別支援につなげます。

基本方針2の「信頼される学校づくりの推進」及び基本方針4で示す「地域の教育力の向上」の観点からは、福生市の地域特性である和の文化を生かした伝統文化理解教育と自然、文化体験、洋の文化を特長とした英語教育の重点化を進め、国際的な視野に立ちグローバル化の進展の中で活躍できる力の育成を推進します。

新しい学校給食センターの建設計画では、市の総合防災機能を持つ災害時対応施設との併用施設として、現在基本計画を策定しています。

基本方針3の「生涯学習社会の推進」の観点からは、市民一人ひとりがあらゆる機会に、あらゆる場所で学習でき、その成果を生かすことができる生涯

図書館では、「福生市立図書館基本計画」に基づき、社会の変化、時代の要請にこたえる図書館を目指し、学校と連携した読書教育や調べ学習等に対する支援の拡大を図ります。

平成25年度に福生市営プールの管理・運営に指定管理者制度を導入し、引き続き安全性を優先した市民サービスの向上と効率的な管理・運営、経費の節減を図ります。福生市民会館、福生地域体育館、熊川地域体育館では新たな指定管理者により、さらなるサービスの提供を行います。

基本方針1の「子どもたちの『生きる力』の育成」の観点からは、児童・生徒の対応や個別の教育支援では問題の解決に向けた取組を強化し、学校内におけるサポート委員会をより活性化させます。

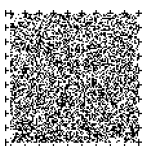
また、福生市総合防災訓練に小・中学校全校が参加し、災害発生時の児童・生徒の安全確保と地域との連携を図ります。

福生市子どもたちが未来に希望を持ち、目標に向かって進んでいく教育を展開できるように取組を進めてまいります。

基礎学力の定着では、確かな学力の定着と向上を目指し、義務教育終了時点での目標達成

また、福生市総合防災訓練に小・中学校全校が参加し、災害発生時の児童・生徒の安全確保と地域との連携を図ります。

福生市子どもたちが未来に希望を持ち、目標に向かって進んでいく教育を展開できるように取組を進めてまいります。



感動！児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

市内小・中学校の児童・生徒が日頃の音楽活動の成果を発表する「児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート」が3月8日に市民会館で行われ、保護者のほか多くの市民の皆さんが来場されました。

来場者からは、「合同演奏について、まさにハーモニーと迫力を感じました。このハーモニーがあれば福生の将来も安心できるなと感心しました。」「娘が中学に進学したら、吹奏楽部に入りたいと言っています。このようなきっかけを与えていただき感謝しています。」といった感想が寄せられました。



▲「福生六小 音楽クラブ」による演奏

問合せ 指導室 学務・指導係
☎551・1948

「平成26年度福生市立小・中学校教育活動発表会」を開催します

福生市の教育施策の報告と各学校の教育実践及び学校支援地域組織の取組の発表等を通して、学校・家庭・地域の連携・協力を図り、福生市の教育の一層の推進を目指します。

多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

- ◆開催日 平成26年6月21日(土) 午後2時00分～4時00分
- ◆場所 福生市民会館小ホール(つつじホール)
- ◆テーマ 「家庭や地域と連携した福生市の学校教育」
- ◆主な内容
 - ・福生市教育委員会の施策の報告(「ふっさっ子未来会議」の一年次報告)
 - ・福生市立小・中学校の教育活動の発表
 - ※発表校は福生第三小学校、福生第六小学校の2校
 - ・学校支援地域組織の取組の報告
 - ・参加者代表との意見交換
 - ・各学校の特色ある教育活動等の展示発表



問合せ 指導室 学務・指導係 ☎551・1948

各小中学校の取組や教師の活躍などを紹介していきます

自立して学習する児童の育成を目指して - 福生第七小学校 - 「Eライブラリ学習会」に取り組んでいます!

福生第七小学校では、平成24年度から開始した夏休み期間中の「Eライブラリ学習会」を、平成25年度9月から月2回行っています。「Eライブラリ学習会」は、学童や「ふっさっ子の広場」と連携した取組で、学習は「言われて行うものではなく、自分が決めて行うもの」であるという意識を児童に理解し、身につけてもらうことを目的としています。

「Eライブラリ」とは、福生市立小・中学校に導入されているパソコンを使って学習する自習ソフトです。学校のパソコンだけでなく、インターネット環境を利用すれば学校での学習の続きが自宅でもできるため、学習する内容や学習ペースをすべて自分で決めて進めていくことができます。

授業が終わった放課後、参加を希望する児童がIDカードを持ってパソコン室に集まります。集まった児童は、早速パソコンを開き、学習を始めます。また、パソコン操作が不安な児童には、「ふっさっ子の広場」の先生等が支援しています。

福生第七小学校の平成25年度の参加者は、8月から3月までのべ218名、月平均で約22名という結果でした。始めたばかりでまだ課題はありますが、放課後の学習の機会として、平成26年度も継続していきます。学習は本来、「しなければならないこと」ではなく、「したいこと」であるはずで、この「Eライブラリ学習会」をその一つの機会として、学ぶことの目的を自分の言葉できちんと話すことができる自立して学習する児童の育成を、福生第七小学校は目指していきます。



▲パソコン操作を教わりながら、自主的に学習する児童の様子

4月より、中学校ランチルームで提供している献立が一部変更となります。
これまでの5種類の献立(ランチ、アラカルトA、アラカルトB、麺類、パン)のうち、麺類及びパンを取りやめ、文部科学省の学校給食摂取基準に基づき、中学生の身体成長に必要なバランスの取れた

3種類の献立(ランチA(和食)、ランチB(洋食)、アラカルト)に変更します。
また、価格については、3種類とも一食あたり340円となります。
問合せ 学校給食課 給食第一係
☎551・1344

中学校ランチルームの献立について

「福生市立図書館基本計画」を策定しました

図書館では、図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、「福生市立図書館基本計画」を策定しました。

この計画は、福生市図書館協議会からの答申「福生市立図書館の今後のあり方について」(平成25年4月)を基に図書館の現状分析、利用者へのアンケート調査を踏まえ策定しました。

【目的】 図書館は、社会の変化、時代の要請、定住化の推進に対応するために、図書館が目指す将来の方向を示すこと。

【目標期間】 平成26年度から平成35年度までの10年間

【基本理念】 図書館は一人ひとりの個性を尊重した資料・情報の提供を行うとともに、読書・情報の大切さを発信し、人の自立や自治体形成の発展に寄与すること。

【基本理念を達成するための基本目標】

基本目標1 市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館

推進施策1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します

推進施策2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います

推進施策3 視聴覚資料の充実を図ります

推進施策4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります

推進施策5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います

推進施策6 西多摩の市町村との連携を継続します

基本目標2 市民が利用しやすく快適な空間のある図書館

推進施策7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します

推進施策8 より利用しやすく快適な図書館を目指します

推進施策9 より安全で安心して利用できる図書館

を目指します

基本目標3 市民の課題解決に役立つ図書館

推進施策10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します

推進施策11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します

基本目標4 家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館

推進施策12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します

推進施策13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します

推進施策14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します

基本目標5 地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館

推進施策15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます

推進施策16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます

基本目標6 長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館

推進施策17

○「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成

○職員の内外的研修への参加

○図書館運営の自己点検・評価の実施

○図書館協議会等による外部評価の実施

○市民への公表

※計画書は、図書館及び市役所情報スペースでご覧いただけます。また、図書館ホームページにも掲載しています。

問合せ 中央図書館 ☎553・3111

